

# 幼稚園教育実習前の音楽指導に関する一考察

## — 幼小連携に対応できる保育者養成をめざして —

田 中 慈 子

### A Study of Music Instruction before Kindergarten Practice Teaching — To Aim at Training of Child-Care Worker that can Respond to Cooperation between Kindergarten and Elementary School —

Yasuko TANAKA

#### はじめに

本学では、1年次の2月から3月にかけて保育所実習Ⅰを2週間、2年次の5月から6月に幼稚園教育実習を3週間、6月から7月に保育所実習Ⅱを2週間、実施している。保育所実習Ⅰを終え、幼稚園教育実習、保育所実習Ⅱを迎えるにあたって、音楽活動のうち特に弾き歌いに不安を抱える学生が多数いることが問題となった。その多くは大学に入学してピアノを始めた初学者である。こうした背景もあり、音楽分野の実習事前指導を、ピアノに不安を抱える学生を対象として1年生の3月に集中講座を、2年生全員を対象として「ピアノ奏法Ⅱ」（2年次前期配当、選択科目）にて行った。

本研究は、幼稚園教育実習が開始されるまでの「ピアノ奏法Ⅱ」における学生の授業内での取り組み状況と、幼稚園教育実習後に実施した質問用紙調査結果を分析することで、本学の授業内容が幼稚園教育実習で求められる音楽活動に適しているかを見直し、次年度以降の指導を効果的に実施するために行ったものである。さらに、大学入学から2年次前期までの音楽関連の授業を受講した本学学生が、幼稚園教育要領に則った指導をどの程度実習において子どもたちにできたかを、授業での取り組み状況や実習後の質問用紙調査結果から考察する。小学校学習指導要領「音楽」への連携を視野に入れた、幼稚園教育要領「表現」の指導が行える力を備えた学生を養成するためにも、本学学生の身に着けた力と課題を確認し、今後の指導方法を検討する参考としたい。

#### I 方法

##### 1 授業方法と内容

幼稚園教育実習前の音楽活動の指導を「ピアノ奏法Ⅱ」（1コマ90分）の授業にて行った。選択科目であるものの実習事前指導を行うため、2年生のほぼ全員にあたる75名が履修した。授業そのものは全15回開講されるが、幼稚園教育実習事前指導としては、実習が開始される前の平成25年4月8日から5月1日の期間に週2回のペースで8回にわたって開講した。

授業は集団授業とピアノ個人レッスンで構成されており、授業内容は以下の通りである。

##### (1) 集団授業（45分）

- ① 手遊び：グループ発表とレパトリー拡大
- ② リズム変奏：かえるの合唱、きらきらぼし
- ③ リズム付き視唱：読譜力強化と初見対策

##### (2) ピアノ個人レッスン（45分、1人あたり15分）

- ① 生活のうた3曲（必修）：おはよう、おべんとう、おかえりのうた
- ② 季節〈夏〉の歌など表1の幼児歌曲、実習園で頂いた幼児歌曲

##### (3) 中間実技試験

- ・実施日：平成25年5月1日
- ・受験者数：74名（1名欠席）
- ・実施場所：保育実習室（図1参照）
- ・服装：実習にふさわしい服装
- ・課題：次の①、②の幼児歌曲を弾き歌いする

こと。暗譜不要、1番のみ。

- ① 生活のうた：おはよう、おべんとう、おかえりのうたの中から当日1曲指定（抽選の結果、おかえりのうたを指定）
- ② 季節〈夏〉の歌など表1のリスト、もしくは実習園で頂いた曲より1曲

表1 本学で使用している幼児歌曲リスト

分類	難易度	曲名
生活 3曲	A	おはよう
	A	おべんとう
	A	おかえりのうた
夏 12曲	D	アイスクリームのうた
	D	あめふりくまのこ
	B	うみ
	C	おばけなんてないさ
	A	かえるの合唱
	A	かたつむり
	B	しゃぼんだま
	A	とんぼのめがね
	B	南の島のはめはめハ大王
	A	みずあそび
	C	とけいのうた
	A	たなばたさま
その他 3曲	D	さんぽ
	C	バスごっこ
	A	はをみがきましよう

注) アルファベットは難易度 (A 易→D 難) を示す。



図1 中間実技試験実施開場風景 (保育実習室)

## 2 アンケート調査方法

アンケート調査は、「ピアノ奏法Ⅱ」を履修し幼稚園教育実習を終えた学生を対象として、第1回平成25年6月19日、第2回平成25年7月31日に実施した。

アンケート調査の質問内容であるが、6月19日実施分においては、①実習中歌われていた曲名、②実習中に担当した幼児歌曲名、③実習中にピアノを担当した頻度、④実習を終えた感想（良かった点、反省点、大学の授業に希望すること等）の自由記述を求めた。7月31日実施分では、学生が「ピアノ奏法Ⅱ」の授業内容のうち有意義であると考えた項目を次の5項目の中（手遊び、リズム変奏、リズム付き視唱、「生活のうた」弾き歌い、「季節のうた」弾き歌い）から選択する形式で尋ねた。

## Ⅱ 結果および考察

### 1 「ピアノ奏法Ⅱ」ピアノ個人レッスンにおける幼児歌曲の取り組み状況

第8回授業（平成25年5月1日）で実施する中間実技試験前までに、学生がピアノ個人レッスンにて合格した幼児歌曲数は表2の通りであった。なお、レッスンは4月8日から4月26日までに合計7回行った。

表2 中間試験までに学生が合格した幼児歌曲数

合格曲数	人数
2曲	5
3曲	3
4曲	36
5曲	10
6曲	10
7曲	3
8曲	5
14曲	1
不明	1

この結果から、中間試験にて生活のうた3曲と自由曲1曲の合計4曲を準備することが求められるため、学生は身近な目標として4曲を目指して練習していたことが考えられる。曲目により難易度が異なるため、一概に合格曲数だけで判断するには問題があるが、個人の履修状況を記録したカルテを分析したところ、合格曲数が多い学生ほど難易度が高い曲目にチャレンジ

し、少ない学生ほど「水あそび」や「かえるの合唱」など難易度が易しい曲で合格していた。また、合格曲数が少ない学生は生活のうた、なかでも「おべんとう」に苦戦して習得までに日数を要したことがわかった。

ほぼ全員が最低クリアラインである4曲には達しているものの、実習園で事前に頂いた曲数が多い園では10曲であることを考えると、短期間でレパートリーを増やす能力の養成が今後の課題である。

## 2 中間実技試験の取り組み状況

### (1) 試験実施環境

これまでの試験は音楽室で行っていたが、今回新たな試みとして、実習現場に近い環境を備えた保育実習室(図1参照)にて行った。服装も「実習にふさわしい服装」とし、学生自身に考えさせる機会とした。その結果、大半の学生がジャージで臨んだ。髪を結んで受験するなど、子どもに対する配慮も見受けられ、これまでの実習やボランティアでの経験が活かされていることがうかがえた。

保育実習室での試験は、曲に乗って身体でリズムを取ったり、口ずさみながら聴いたり、素晴らしい演奏の後には思わず拍手をした学生もあり、適度の緊張感を保ちつつも明るい雰囲気で行った。音楽室で実施した試験では見受けられなかった光景であり、今後の試験実施の参考としたい。

### (2) 中間試験における選択曲

中間試験にて学生が演奏した選択曲目は表3の通りである。試験選択曲の難易度が二分化していることが見て取れる。ピアノが得意な学生は難易度Dの曲、「あめふりくまのこ」、「さんぼ」を選択し、ピアノが苦手な学生は難易度Aの曲、「みずあそび」、「かえるの合唱」を選択している。

一番多く選択された「みずあそび」は、曲を知らない学生がほとんどであったことや、幼稚園教育実習では使用率が低かったものの、続く保育所実習Ⅱにおいては多くの園で使用されていたため、効果的であったと考えられる。

一方、難易度Aの曲で約半数の学生が試験に臨んだことは、2年生前期としては物足りなさが残る結果となった。しかし、中間試験で他者の演奏を聴くことが難易度の高い曲に興味を持つきっかけとなり、期末

試験にてチャレンジする学生が出てきたことは評価できる。

### (3) 採点基準の開示

あらかじめ試験の採点基準のうち核となる2項目を学生に提示した。一つに曲にふさわしいテンポで「止まらず」演奏すること、二つに歌声とピアノの音量のバランスを聞き取って「豊かな歌声」を重視することである。保育の現場で必要となる力を明確化することで、以前より学生の意識が高まったことが、後述のアンケートの自由記述からも予想される。

表3 中間試験で学生が選択した幼児歌曲ランキング

ランキング	難易度	幼児歌曲名	人数
1	A	みずあそび	22
2	D	あめふりくまのこ	9
3	A	かたつむり	7
4	D	さんぼ	6
5	A	とんぼのめがね	4
6	A	かえるの合唱	3
6	B	南の島のハメハメハ大王	3
6	実習園曲	おとうばん	3
9	C	おぼけなんてないさ	2
9	A	はをみがきましょう	2
11	D	アイスクリームのうた	1
11	B	しゃぼんだま	1
11	C	とけいのうた	1
11	C	バスごっこ	1
11	実習園曲	あなたのお名前は	1
11	実習園曲	なんでもたべるこ	1
11	実習園曲	おはよう(園バージョン)	1
11	実習園曲	おへんじ	1
11	実習園曲	ねね	1
11	実習園曲	だんごむしのうた	1
11	実習園曲	ひとりの手	1
22	B	うみ	0
22	A	たなばたさま	0
自由曲を用意できなかった学生			2

注) アルファベットは難易度(A易→D難)を示す。

### (4) 試験の評価と今後の課題

試験課題曲数を準備できないまま試験を受験した学生が2名いたものの、履修者75名中74名が受験し、その全員が最後まで弾き歌いしきったことは評価できる。

中間試験終了後のピアノ個人レッスン指導教員8名との意見交換の場で、一番問題となったのが歌声の小

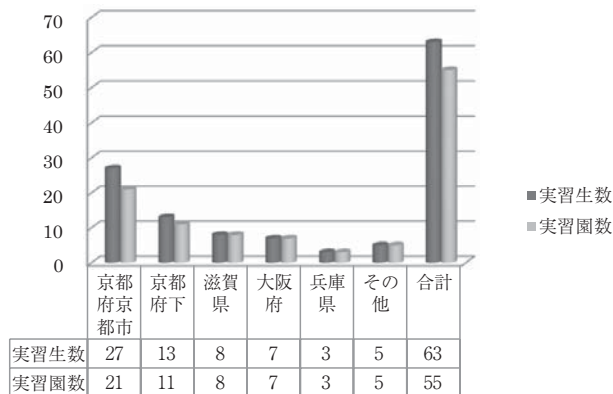
ささであった。ピアノを弾くことに必死で歌声が疎かになる学生、歌い慣れておらず声を出すことが苦手な学生など、さまざまな理由が考えられる。そもそも学生は、自分の歌声とピアノのバランスが適切であるか自覚していないと考えられる。歌声とピアノの適切なバランスの手本を示して、学生が目指すべき到達地点を明確化すること、加えて、言葉を子どもたちに伝える大切さを意識させ、曲の持つ情景をイメージする習慣を身につけさせることが今後の課題である。また、授業内で多くの幼児歌曲を歌うことで、曲に親しみ、歌う喜びを味わう指導を行い、同時に客観的に聴く力を養成するためにも、人前で演奏する機会を多く設定し、振り返りを行う必要がある。

### 3 アンケート調査結果と考察

#### (1) 幼稚園教育実習実施期間と実習園所在地

幼稚園教育実習を終えた学生のうち、アンケート回答者は63名であった。実習園数は55園、実習期間は平成25年5月7日から5月25日が33名、平成25年5月27日から6月15日が30名である。(表4参照)

表4 実習園所在都道府県別実習生数・実習園数



#### (2) 実習園で歌われていた幼児歌曲

幼稚園教育実習期間中に実習園で歌われていた幼児歌曲は全166曲にのぼった。使用曲ランキングベスト20は表5のとおりである。なお、参考資料として全166曲のリスト(補助資料1参照)は論末に掲載する。

ベスト20までの半数が、本学で使用している幼児歌曲リストに含まれていることから、授業内容が実習中はもちろんのこと現場で活かせられる内容であると評価できる。

表5 幼稚園教育実習中歌われていた幼児歌曲BEST20

ランキング	幼児歌曲名	使用数
1	おはよう	38
2	おべんとう	37
3	おかえりのうた	25
4	おとうばん	23
5	のんのののさま	13
5	とけいのうた	13
7	さよならのうた	12
8	かえるの合唱	10
9	はをみがましよう	9
10	かたつむり	8
11	黙想の曲	7
12	あめふりくまのこ	6
12	バスごっこ	6
14	園歌	5
14	なんでもたべるこ	5
14	にじ	5
14	ぼくのミックスジュース	5
18	夢をかなえてドラえもん	4
18	あなたのお名前は	4
18	おかたづけ	4
18	さんぽ	4

注1) 「おはよう」「朝のうた」「おはようのうた」は同じ楽曲名で何種類かあったり、同じ楽曲であっても異なる楽曲名で楽譜に掲載されている。アンケート調査からは違いが明らかにならないため、「おはよう」として集計した。

注2) グレーで塗りつぶされた楽曲は、本学で使用している幼児歌曲リストにあげられている楽曲。

#### ① 生活のうたと規律の学習

園生活における規律やしつけが、歌によって行われていることがうかがえる結果となった。生活の中で使用されている曲が、上位20曲のうち半数の10曲を占める。

多くの園で朝「おはよう」、昼「おべんとう」、帰り「おかえりのうた」が歌われている。朝の「おはよう」は園によって様々な曲が、昼の「おべんとう」の代わりに「なんでもたべるこ」が、帰りでは「おかえりのうた」と「さよならのうた」を両方または交互で使用されていることがわかった。また、活動の前や午睡の前に「子守唄」(野上彰 作詞/團伊玖磨 作曲)が使われている園もあった。その他、「おとうばん」は筆者が予想していた以上に使われており、「おかたづけ」も上位に入っている。

また、仏教系の実習園では、朝「おはようのうた」(安

藤洵之助 作詞／本多鉄磨 作曲)、昼「おべんとうのうた」、お帰り「さよなら ほとけさま」、その他「のんのんのさま」(以上3曲 三橋あきら 作詞／本多鉄磨 作曲)が毎日歌われ、「黙想の曲Ⅰ」、「黙想の曲Ⅱ」(以上2曲 本多鉄磨 作曲)が演奏されていた。

実習園で楽譜を頂いてきた学生は、一般的な幼児歌曲と仏教讃歌との違いにとまどい、習得するまでに大変苦労していた。仏教讃歌は左手伴奏をコード奏にすると曲想を壊しかねないため、なるべく原曲のまま演奏することが求められる。

以上の結果を踏まえて、次年度以降、現在必修の生活のうた3曲に加えて「おとうばん」を、仏教讃歌のうち「のんのんのさま」と「黙想の曲Ⅰ、Ⅱ」を新たに必修課題として加えることとする。

② 季節や行事にちなんだ楽曲

予想通り、季節や行事の定番曲がランクインしている。実習期間中に6月4日の虫歯予防デー、6月10日の時の記念日、そして6月第3日曜日の「父の日」を迎えたこともあり、それぞれに因んだ曲が歌われていた。

「とけいのうた」、「はをみがきましょう」の定番曲が多く使われていた一方で、新しい楽曲も目についた。付点のリズムを特徴とする「くじらのとけい」、「ねずみのはみがき」、シンコペーションと半音階がユーモラスな「虫歯建設株式会社」などが挙げられる。いずれも、おかあさんといっしょから生まれた子どもたちに人気の曲である。「くじらのとけい」は「9時」と「くじら」が掛けことばとなっており、子どもたちと一緒に言葉遊びが楽しめる。

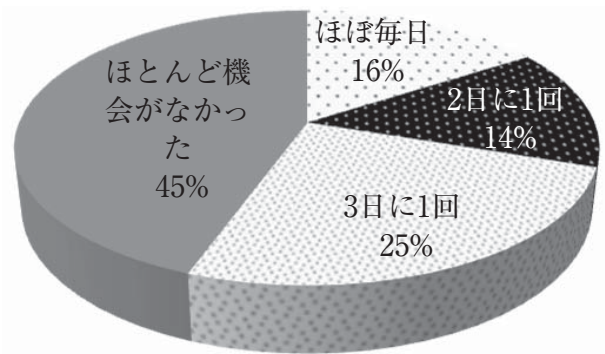
虫歯予防デーに関する曲は菌みがき指導としても年中歌えることから、授業の中で積極的に歌うこと、父の日に因んだ「すてきなパパ」を幼児歌曲リストに加えることで更なる教育効果が期待できる。

(3) 実習中に学生がピアノを担当した頻度と楽曲

実習中に学生がピアノを担当した頻度は、表6のとおりである。実習中に演奏した幼児歌曲ベスト17(表7、補助資料2参照)からみて、生活活動においてピアノを担当したことが見てとれる。

他方、約半数がピアノを担当する機会がほとんどなく、これは筆者の予想を大きく下回る結果であった。

表6 実習中ピアノを担当した頻度



授業で課題としている曲目は、現場のニーズに沿っていることが、表1と表7の結果から確認できた。

しかし、子どもたちを見ながら余裕をもって指導できるまでには至らなかった者が多くいたことが、次に述べる学生の感想から明らかになったため、次年度以降は、「生活のうた」を1年次の必修課題として、どのような状況でもこの3曲だけはゆとりを持って指導できる力を身につけさせる必要がある。

表7 幼稚園教育実習で学生がピアノを弾いた幼児歌曲

ランキング	幼児歌曲名	使用数
1	おべんとう	28
2	おはよう	22
3	おかえりのうた	21
4	おとうばん	15
5	さよならのうた	9
6	のんのんのさま	8
6	かたつむり	8
8	はをみがきましょう	7
9	かえるの合唱	6
10	あめふりくまのこ	5
11	とけいのうた	4
11	なんでもたべるこ	4
11	キラキラぼし	4
14	黙想の曲	3
14	おかたづけ	3
14	アマリリス	3
14	おつかいありさん	3

注) グレーで塗りつぶされた楽曲は本学で使用している幼児歌曲リストにあげられている楽曲。

(4) 幼稚園教育実習後の学生の感想

実習を終えた学生が音楽活動で感じた自由記述に合計55名の回答があった。「子どもの方を見ながら弾き歌えるようになりたい」13名、「弾き歌いのレパトリーを拡大したい」8名、「練習がたくさん必要である」

8名、「授業でできて安心であった」5名、「手遊びのレパトリーが役立った」4名という意見が多数得られた。

考察しやすいよう以下の3カテゴリーに分類し、学生の自由記述を原文のまま挙げる。

#### ① 自己評価が高かった点

- ・事前に大学で弾いていた曲ばかりだったので、余裕をもって歌唱指導ができ、子どもたちも覚えが早く、自由遊びの際も歌っている子供がいました。余裕が持てたので私自身も楽しめました。
- ・大学で皆の前ですることが多いので緊張しなかったです。
- ・やれる日には毎日ピアノをさわる癖がつけられたのでピアノになじみやすかった。
- ・8曲毎日練習していたけれど、子どもの前で弾くと緊張してしまい間違いも多くありましたが、8曲すべて弾けるようになったことが一番うれしくすごい達成感がありました。

#### ② 実習から学んだ今後の課題

- ・全然足りないと感じました。実習中一番悩んだといっているほど、手遊びと弾き歌いに困ったので、もっと増やしていきたいです。
- ・子どもの方を見ながら弾く事が難しかった。練習では弾けたのに、本番では間違えてしまった。本番だと思い練習することが大切だと思いました。
- ・子どもの前に立って弾くのはテストより緊張しました。また、止まらず弾くということの大切さも改めて知ることができました。止まりそうでも右手だけ弾くことで、子どもたちもスムーズに歌うことができると実習で教わりました。
- ・子どもたちが歌いやすいようにゆっくり弾くこと、様子を見ながら弾くこと、歌詞を先読みして、子どもたちが歌いやすくするように配慮することを学びました。
- ・子どもの様子をみながら弾けるようになると良いと思いました。そして弾くだけでなく、何かを作るなど工夫をして前日に用意を行い、子どもたちが楽しんでできるように考えることが必要だと感じました。
- ・仏教系（カトリック系）のピアノ曲を練習したい。

#### ③ 音楽が子どもに与える気づき

- ・手遊びのレパトリーが多くて助かりました。もっとたくさん教えてほしいです。手遊びに変化をつけて子どもたちが夢中になって話を聞けるようにしたいです。そのために自分で考えられたらと思います。
- ・もっとピアノを頑張ろうと思う。レパトリーを増やし、子どもの心をつかみたい。

第一に、自己評価が高かった点から見て取れることは、学生は既習曲を現場で使う場合は安心感を持っていたことである。また、授業の中で、人前で演奏する機会を数多く設けることが学生の自信となり、実習での実践力につながったと考えられる。これらの結果から「ピアノ奏法Ⅱ」の授業が効果的であったと評価できる。

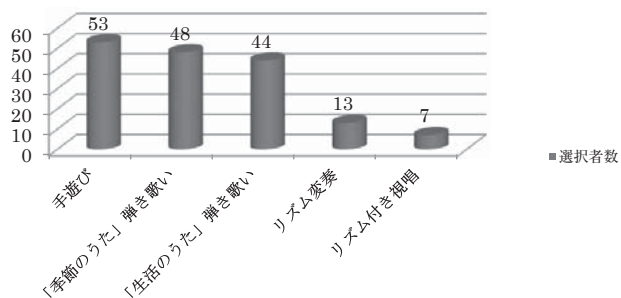
第二に、実習から学んだ今後の課題からは、学生が普段の授業内で指導されている事柄がいかに重要であるかを、身をもって理解したことがわかる結果となった。卒業までの半年、学生がこの学びを活かして成長できるよう、適切な援助を行う必要がある。

第三に、音楽が子どもに与える気づきからは、保育における音楽の力を学生自身が感じ取ったことが評価できる。感じ取った今、個人レッスンにおいても、子どもたちに指導する際には、この曲にどのような工夫ができるか、どのような動機づけができるかをその都度考えさせ、言葉にして説明する機会を設けることが効果的であると考えられる。

#### (5) 学生が有意義と考える授業内容

「ピアノ奏法Ⅱ」の授業内容5項目（手遊び、リズム変奏、リズム付き視唱、「生活のうた」弾き歌い、「季節のうた」弾き歌い）のうち、学生が有意義と考える項目は表8のとおりである。

表8 学生が有意義と考える授業内容  
(有効回答=72、複数回答可)



幼児歌曲弾き歌いの習得という、学生にとっての喫緊の課題が予想通り上位に挙げられた。意外であったのは1位となった手遊びである。弾き歌いのようにピアノ技術を必要としないため、筆者にとっては驚きの結果であったが、実習中、多くの手遊びが必要とされる場面に遭遇したため、授業内容をすぐに活かすと学生は考えていることがわかった。

以下、手遊びの取り組み状況を報告する。集団授業にて、毎時間、1グループずつ（3人1グループ）発表を行った後、発表したグループがクラス全体に手遊びを指導。クラス全員が一つの手遊びをマスターする方法をとった。学ぶ側の学生の中には懸命にメモを取る姿も見られ、また、指導する側の学生の中には、ピアノは不得手でも手遊びでは驚くほど表情豊かに活動した者もいた。学生の新たな一面を発見でき、今後の指導につながった。その後、筆者からも手遊びを紹介し、これら一連の内容を授業の導入として約12分程度で指導した。

一方、学生が有意義と考える授業内容としては、最下位に終わったリズム付き視唱であるが、リズムを理解し、正しい音程でメロディーを歌う訓練は、読譜力を養うためにも指導すべき項目であると考えられる。

今回のアンケート調査で、わずか3週間の実習期間中に多種多様な166種類もの幼児歌曲が歌われていることがわかった。定番曲が歌い継がれている一方で、新しい曲を取り入れている園も目立ち（補助資料1参照）、自力で読譜する力を身につけることが必要である。学生自身が役に立ったと即実感できる項目ではないが、幼児歌曲のレパートリー拡大と並行して指導を継続し、学生の意識の変化を改めて調査する必要がある。

#### 4 幼稚園教育要領「表現」からみる本学学生の現状と課題

第2章第1項から第3項までは、幼稚園教育実習に向けての事前指導状況の報告と考察を行ったが、いくつかの問題点が見受けられたため、本項では、大学入学から2年次前期までの音楽関連の授業を受講した本学学生が、幼稚園教育要領に則った指導を実習中どの程度子どもたちにできたか、授業での取り組み状況や実習後の質問用紙調査結果から考察する。小学校学習指

導要領「音楽」への連携を視野に入れた幼稚園教育要領「表現」の指導が行える学生の養成が必要であるため、まず幼稚園教育要領と小学校学習指導要領の主に音楽表現活動に関わる事項を大観したのち、本学学生の現状と今後の課題を検討する。

##### (1) 幼稚園教育要領<sup>1)</sup>にみる表現

第1章 総則の1 幼稚園教育の基本に「(3) 幼児の発達は、心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。」<sup>1)</sup>とある。

さらに、第2章 ねらい及び内容の表現では、「1 ねらい (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。2 内容 (1) 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。(2) 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。(3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。(6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。」<sup>1)</sup>と示されている。

##### (2) 小学校学習指導要領<sup>2)</sup>にみる教科「音楽」

第2章 各教科 第6節 音楽の第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕では、「1 目標 (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。(2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。」<sup>2)</sup>とある。第3 指導計画の作成と内容の取扱いでは、「(4) 低学年においては、生活科などとの関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。特に第1学年においては、幼稚園教育における表現に関する内容などとの関連を考慮すること。」<sup>2)</sup>とある。

##### (3) 本学学生の現状と今後の課題

学生の現状を、幼稚園教育要領における「発達の課題に即した指導を行うようにすること」と「楽しむ(楽

しさを味わう)」、小学校学習指導要領における「楽しむ」と「音楽経験を生かす」、「幼稚園教育との関連に考慮すること」に着目して考察する。

幼小とも共通キーワードは「楽しむ」である。子どもたちに楽しさを味わわせるためには、指導者である保育者が楽しんで指導にあたらなければならない。また、小学校学習指導要領の「幼稚園教育との関連に考慮すること」は幼小連携問題につながる。幼小連携における目下の課題は、子どもの連続的な発達を相互理解することにある。岡本(2006)も「小学校の教科と幼稚園の生活において、具体的な内容や要素のつながりを見出したり、幼小一貫の指導計画を作成したりすることが重要なのではなく、それぞれの指導内容や指導計画を互いに理解し尊重しながら、音楽的な活動からどのような幼児、児童を育てたいかを共通理解し、それぞれの独自性を踏まえた教育を行うことが大切であるとの認識を得た。」<sup>3)</sup>と報告している。

本学学生の授業内での取り組み状況と実習後の質問調査用紙結果からみて「楽しむ」段階まで達した学生は少なく、「この曲を、どの年齢の子どもに、どのように指導するかがわからない。」と子どもの発達と音楽指導に不安を抱える学生がいることがわかった。しかし、質問用紙調査の自由記述回答には「子どもたちが楽しんでできる工夫を事前にする必要がある。」、「レパートリーを増やして子どもの心をつかみたい。」とあり、子どもたちが楽しむためには何をすればよいかという問題意識を持っていることから、今後の指導によっては大きな成長が期待できる。

子どもの発達段階を理解することで、ねらいや教育目標を明確に持って指導にあたれるようになり、保育者、小学校教員が共通理解をはかる際に必要となる互いの教育内容を説明しあう能力が培われる。

本学の音楽教育には、子どもたちの音楽的発達に基づいた月ごとや年齢ごとの指導案の作成、さらには作成した指導案で模擬授業を行う機会を設けるなど音楽指導法の充実と、従来から力を入れている実技能力の向上、両者のバランスがとれた指導が求められよう。

## おわりに

本研究の目的であった、「ピアノ奏法Ⅱ」が実習事前指導として適しているかについては、一定の効果を

有していることがわかった。研究を進め本学学生の現状が明らかになるにつれて、指導の原点である幼稚園教育要領に改めて立ち返るきっかけとなり、強化して指導すべき課題「幼児の発達段階に即した教育目標やねらいをもって表現指導を行える保育者養成」の発見につながった。

今後は、幼小連携に対応できる保育者を養成するためにも、実技能力の向上と音楽指導法の双方に力を注いだ指導を進めていきたい。

## 引用文献

- 1) 幼稚園教育要領 平成20年3月告示 文部科学省(2008)
- 2) 小学校学習指導要領 平成20年3月告示 文部科学省(2008)
- 3) 岡本拓子:音楽指導において、幼小連携をいかにつくるか、日本学校音楽教育研究会紀要10、p203(2006)



補助資料1 幼稚園教育実習中、歌われていた幼児歌曲全166曲（有効回答：N = 63、55園）

ランキン	幼児歌曲名	使用数	ランキン	幼児歌曲名	使用数
1	おはよう※	38	64	ありがとうのうた	1
2	おべんとう	37	64	ありがとうの花	1
3	おかえりのうた	25	64	いつくしみふかき	1
4	おとうぼん	23	64	うたの歌	1
5	のんのんののさ※	13	64	うるわしきあさも	1
5	とけいのうた	13	64	えんそくのうた	1
7	さよならのうた	12	64	おててあらいましょう	1
8	かえるの合唱	10	64	おとうさん	1
9	はをみがきましょう	9	64	おともだちになっちゃった	1
10	かたつむり	8	64	おひさまきらきら	1
11	黙想の曲※	7	64	おひさまにこにこ	1
12	あめふりくまのこ	6	64	おへんじ	1
12	バスごっこ	6	64	かもめのすいへいさん	1
14	園歌	5	64	かわいいかくれんぼ	1
14	なんでもたべるこ	5	64	きつとできる	1
14	にじ	5	64	きんぎよとめだかさん	1
14	ぼくのミックスジュース	5	64	ごきげんいかが	1
18	夢をかなえてドラえもん	4	64	ことりのうた	1
18	あなたのお名前は	4	64	しあわせなら手をたたこう	1
18	おかたづけ	4	64	ジグザグおさんぽ	1
18	さんぽ	4	64	すきすきおかあさん	1
22	勇気100%	3	64	すごいぞ！じゃがいも	1
22	アマリス	3	64	せんせいとおともだち	1
22	アンパンマンのマーチ	3	64	だから雨ふり	1
22	いぬのおまわりさん	3	64	だんごむしのうた	1
22	うたえバンバン	3	64	小さな世界	1
22	おたまじゃくし	3	64	つばめになって	1
22	おつかいありさん	3	64	てるてるぼうず	1
22	おばけなんてないさ	3	64	てるてるボーイズ	1
22	キラキラぼし	3	64	でんでらりゅうば	1
22	こいのぼり	3	64	てんとうむし	1
22	さよならさんかく	3	64	ともだちっていいな	1
22	すてきなパパ	3	64	ともだちできちゃった	1
22	ちっちゃないちご	3	64	ドレミの歌	1
22	ちょうちょう	3	64	どろんこと太陽	1
22	ピクニック	3	64	どんな色がすき	1
37	Good morning to you	3	64	とんぼのめがね	1
37	ありさんのおはなし	3	64	ねずみのはみがき	1
37	いちご	3	64	ねね	1
37	いのちがいっぱい	2	64	はるですねはるですよ	1
37	いまささぐ	2	64	はるのかぜ	1
37	大きな古時計	2	64	ひとつふたつグーバー	1
37	おかあさん	2	64	ひとりじゃないさ	1
37	おかえりのまへのうた	2	64	ふしぎなポケット	1
37	おひさまになりたい	2	64	ぶらんこ毛虫	1
37	おもちゃのチャチャチャ	2	64	ぶんぶんぶん	1
37	お誕生日の歌	2	64	ほくらのロコモーション	1
37	かもつれっしや	2	64	ほくらはなかま	1
37	くじらのとけい	2	64	ほとけの子ども	1
37	子守唄	2	64	みずあそび	1
37	さよならほとけさま	2	64	ミッキーマウスマーチ	1
37	すずめがサンバ	2	64	みんなの広場	1
37	せっけんさん	2	64	めぐみのかみさま	1
37	せんろはつづくよどこまでも	2	64	メリーさんのひつじ	1
37	たなばたさま	2	64	やきいもグーチャーバー	1
37	なかまはたから	2	64	やさしいめが	1
37	はやおきどけい	2	64	やすかりし	1
37	パレード	2	64	ゆりかごのうた	1
37	ホ！ホ！ホ！	2	64	ロケットばびゅーん	1
37	ほとけさま	2	64	きみとぼくの間に	1
37	むすんでひらいて	2	64	賛美歌	1
37	虫菌建設株式会社	2	64	出発だ	1
37	森のくまさん	2	64	わらうと元気になるかしら	1
64	Let's go いいことあるさ	2	64	世界中のこどもたちが	1
64	アイアイ	2	64	あおいそらにえをかこう	1
64	あしたははれる	2	64	大きなたいこ	1
64	あの青い空のように	1	64	誰かが星をみていた	1
64	あらどこだ	1	64	虫菌のこどもの誕生日	1
64	ありがとう大好きさ	1	64	虹の彼方に	1

注1) 一覧の他に曲名があいまいなもの28曲。注2) ※の「おはよう」「のんのんののさま」「黙想の曲」は種類があり、アンケート回答からは判別不可能。

補助資料2 幼稚園教育実習で学生がピアノを弾いた幼児歌曲（有効回答 :N = 63、55 園）

ランキング	幼児歌曲名	使用数	ランキング	幼児歌曲名	使用数
1	おべんとう	38	28	どろんこと太陽	1
2	おはよう	37	28	ねね	1
3	おかえりのうた	25	28	はるですねはるですよ	1
4	おとうばん	23	28	ひとつふたつグーパー	1
5	さよならのうた	13	28	ひとりじゃないさ	1
6	のんのんののさま	13	28	ふしぎなポケット	1
6	かたつむり	12	28	みずあそび	1
8	はをみがきましょう	10	28	みんなの広場	1
9	かえるの合唱	9	28	めぐみのかみさま	1
10	あめふりくまのこ	8	28	ゆりかごのうた	1
11	とけいのうた	7	28	出発だ	1
11	なんでもたべるこ	6	28	わらうと元気になるかしら	1
11	キラキラぼし	6			
14	黙想の曲	5			
14	おかたづけ	5			
14	アマリリス	5			
14	おつかいありさん	5			
18	にじ	4			
18	ぼくのミックスジュース	4			
18	あなたのお名前は	4			
18	さんぽ	4			
18	さよならさんかく	3			
18	ちょうちょう	3			
18	いまささぐ	3			
18	おかあさん	3			
18	おかえりのまへのうた	3			
18	さよならほとけさま	3			
28	バスごっこ	3			
28	園歌	3			
28	夢をかなえてドラえもん	3			
28	おたまじゃくし	3			
28	こいのぼり	3			
28	すてきなパパ	3			
28	ちっちゃないちご	3			
28	ピクニック	3			
28	Good morning to you	3			
28	ありさんのおはなし	3			
28	いちご	3			
28	大きな古時計	3			
28	かもつれっしや	2			
28	くじらのとけい	2			
28	子守唄	2			
28	なかまはたから	2			
28	ほとけさま	2			
28	森のくまさん	2			
28	あの青い空のように	2			
28	うるわしきあさも	2			
28	おでてあらいましょう	2			
28	おともだちになっちゃった	2			
28	おひさまきらきら	2			
28	おひさまにこにこ	2			
28	おへんじ	2			
28	かわいいかくれんぼ	2			
28	きっとできる	2			
28	ごきげんいかが	2			
28	しあわせなら手をたたこう	2			
28	すごいぞ！じゃがいも	2			
28	だんごむしのうた	2			
28	てるてるぼうず	2			
28	てるてるボーイズ	2			
28	ともだちっていいな	2			
28	ともだちできちゃった	2			